

「産経新聞(夕刊)」で大きく紹介！

(2018年2月5日付)

川端康成回想記 おじ様と私

◎内容

鎌倉の書齋に泊めてもらった話、
川端と美智子様との心温まる交流、
特に好んだ関西の味と料理、
大阪からわざわざ取り寄せたうどんすき…
没後45年を経てはじめて明らかになる、
ノーベル賞作家の素顔、
その優しい心づかい。
文学を愛するすべての人に贈る、
秀逸エッセイ！

目次

I
一高に合格して／むし歯／『空也』のもなか／
「幸福の谷」I II／吾亦紅と松虫草／顔のこと／独活／
うどんすき／栗千枚／ふるさとの味／露の臺／お庭の露／
客間のお手洗い／都ホテルのステーキ／おてしよう／
おじ様の書齋／草花を挿して／花山椒／
II
野球／姉妹でおやすみ／孔雀筆／名前／夕飯をご一緒に／
マッサージ／胆石／供養塔／
III
多満遊羅／なまけ者／胸像／日本語だから／おじ様の？／
ココア／牛蒡のお煮しめ／筍、松茸／
「こわい」と言われる目／お近くで／

著者紹介

阪本昭子

1927年、兵庫県茨木市生まれ。著者の父が、川端康成の従兄弟であり、自身の妹が川端康成の養女であることから、幼少より川端と身近に接する。

<p>貴店印・帖合</p> <p>ご担当 様</p>	<p>注文数</p> <p>冊</p>	<p>川端康成回想記 おじ様と私</p> <p>四六判上製 104頁</p> <p>PHPエディターズ・グループ</p> <p>阪本昭子 / 著</p> <p>定価(本体1200円+税) ISBN978-4-909417-02-2</p>
----------------------------	---------------------	---

発行 | **PHPエディターズ・グループ**

〒135-0061
東京都江東区豊洲5-6-52 11階
☎ 03-6204-2931
FAX 03-6204-2932

ご注文はJRCへ ▶▶▶ FAX 03-3294-2177

※返品条件付き注文扱い
すべての取次への出荷が可能です。